

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>3番 川口 延明</p>	<p>1 危機管理体制の向上と防災専門管理官の設置について</p>	<p>4月26日の午後から活発化した大涌谷の火山活動、5月6日に気象庁により噴火警戒レベルが2となりました。それにより、火口周辺規制が引かれ、観光の大動脈である交通ルートが絶たれ、箱根への来訪観光客も大きな単位で減少の道を辿りました。</p> <p>そして6月30日にはレベルが3となり、当町の基幹産業である「観光産業」を中心に更なる大きな打撃を受け、関連の事業者をはじめ全町内に疲弊症状の発生を強く感じました。</p> <p>しかし、今後当町の状況はあらゆる面、良い面での変化をしてくると期待します。外国人観光客の増加をはじめ、国内からの観光客も増え世界各国から人々が来訪されてくるでしょう。一方では観光客が増えることにより、様々な被災に関連した危険リスクも増え、地震や噴火だけでなく、観光地であるだけに風水害対策の中での交通路遮断や感染症の持込み（新型インフルエンザやMERSコロナウイルス等）の対策、大規模食中毒の対策や国民保護計画対策等も住民、観光客の救出等を専門的分野の中で検討をしなければならぬと思われまます。</p> <p>今後、国際観光地「箱根」として危機管理の体制をどのように考えるのか、次の4点について伺います。</p> <p>①地震対策（中央防災会議が想定する相模トラフ沿い、M8クラス発生の場合の対応計画）について</p> <p>②風水害対策（温暖化による大型台風の襲来や豪雨災害）について</p> <p>③感染症（外国人の持ち込む）の対策に</p>

	<p>2 大涌谷火山活動により減少した観光客の今後の誘客活動について</p>	<p>ついて</p> <p>④危機管理の防災専門管理官登用について</p> <p>マスコミ報道にもあります当町の観光業への打撃は計り知れないものがあります。今後、以前の活気を取り戻すため、全町民と事業者が一丸となり取り組まなければならないと思います。前提条件として、警戒レベルが下がった直後にどのような形で誘客活動を行っていくかということになりますが、今までの取り組みと今後どのような施策のもと、観光客を呼び戻すのか次の4点について伺います。</p> <p>①大手旅行会社に対しての誘客活動について</p> <p>②町内の民間大手観光事業者との誘客調整について</p> <p>③コース変更をした修学旅行の呼び戻しについての対応策について</p> <p>④警戒レベルが下がったときの誘客方法について</p>
--	--	--